

社会資本総合整備計画 事後評価シート

平成28年 3月28日

計画の名称	潤いと安らぎに満ちた水環境の再生		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	安城市
計画の目標			

市民生活との共存を図りながら本市の自然を守り育てるため、市民と協働して水循環の再生を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道処理人口普及率 (%) : 市内の行政人口に対する下水道が使える (下水道供用) 区域内の人口の割合を69.5% (H21末)から76.0% (H26末)に引き上げる。</li> <li>・市民の河川整備に対する満足度 (%) : 市民アンケートのうち「河川の整備」に関して“満足である”とした割合を46.1% (H21末)から48.0% (H26末)に引き上げる。</li> <li>・マンホールの浮上防止対策率 (%) : 安城市下水道総合地震対策計画 (緊急対策) のうちマンホールの浮上防止対策について、27箇所中8箇所 (29.6%) の対策を行う。</li> <li>・マンホールトイレの設置率 (%) : 安城市下水道総合地震対策計画 (緊急対策) のうちマンホールトイレの設置について、120基中45基 (37.5%) の設置を行う。</li> </ul>
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① ■下水道が使える (下水道供用) 区域内人口÷行政人口×100 市内の行政人口に対する下水道供用区域内の人口の割合	69.5%	—	76.0%	
② ■市民アンケートのうち「河川の整備」に関して“満足である”とした割合 (%) (河川整備満足度) = (無回答を除く「非常に満足」+「満足」+「やや満足」) / (回答数) (%)	46.1% (H21調査)	—	48.0%	
③ ■マンホールの浮上防止対策施工箇所数/浮上防止対策計画箇所数 計画箇所数に対する施工箇所の割合	0% (H25末)	—	29.6%	
④ ■マンホールトイレの設置箇所数/設置計画箇所数 計画箇所数に対する施工箇所の割合	0% (H25末)	—	37.5%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,707.0百万円	A	3,295.0百万円	B	0.0百万円	C	412.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	11.1%
-------	---------------	------------	---	------------	---	--------	---	----------	---------------------------	-------

事後評価 (中間評価 フォローアップ報告)

○事後評価 (中間評価 フォローアップ報告) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価 フォローアップ報告) の実施体制 社会資本整備総合交付金評価検討会議で実施する H28.2事後評価の審議 H28.3事後評価の公表	事後評価 (中間評価 フォローアップ報告) H27年度: 事後評価を実施  公表の方法 安城市HPにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万)	備考								
											H22	H23	H24	H25	H26										
1-A1-1	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	里第1処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=1,721m	安城市						112.6									
1-A1-2	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	里第8処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=5,888m	安城市						508.5									
1-A1-3	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	二本木第2処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=4,338m	安城市						226.2									
1-A1-4	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	東尾処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=14,318m	安城市						894.1									
1-A1-5	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	古井処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=2,805m	安城市						158.1									
1-A1-6	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	小川処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=274m	安城市						11.1									
1-A1-7	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	小川南処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=3,431m	安城市						183.1									
1-A1-8	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	桜井処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=8,585m	安城市						373.7									
1-A1-9	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	姫小川処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=2,184m	安城市						78.6									
1-A1-10	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	高棚第2処理分区(未普及)	舗装A=2,624㎡	安城市						9.0									
1-A1-11	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	東端第7処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=6,432m	安城市						290.1									
1-A1-12	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	東端第9処理分区(未普及)	汚水管 φ=150.200mm L=6,030m	安城市						399.2									
1-A1-13	下水道	一般	安城市	間接	民間	雨水	-	雨水貯留施設助成	雨水貯留施設 15基/年	安城市						4.9	新世代								
1-A1-14	下水道	一般	安城市	直接	安城市	雨水	新設	西町雨水幹線(浸水対策)	雨水管 □2250×2250 mm L=0m	安城市						0.0									
1-A1-15	下水道	一般	安城市	直接	安城市	雨水	新設	二本木第二排水区(浸水対策)	調整池 4,120㎡	安城市						211.3									
1-A1-16	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	改築	下水道施設耐震補強	人孔浮上防止N=8箇所、設計N=1式	安城市						15.2	総合地震								
1-A1-17	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	マンホールトイレ設置	設置N=45基、設計N=1式	安城市						46.0	総合地震								
														合計										3,521.7	

B 関連社会資本整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考									
										H22	H23	H24	H25	H26											
1-B-1																0									
1-B-2																0									
1-B-3																0									
1-B-4																0									
1-B-5																0									
														合計										0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-B-1														
1-B-2														
1-B-3														
1-B-4														
1-B-5														

C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万)	備考									
										H22	H23	H24	H25	H26											
1-C-1	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	地域ハザードマップ作成	二本木第二排水区における地域ハザードマップの作成	安城市							0.0									
1-C-2	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	下水道等水位観測システム	浸水常襲排水区における下水道等水位情報公開システムの構築	安城市							0.0									
1-C-3	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	里第8処理分区末端管整備(未普及)	汚水管 φ=150mm L=0m	安城市							0.0									
1-C-4	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	二本木第2処理分区末端管整備(未普及)	汚水管 φ=150mm L=0m	安城市							0.0									
1-C-5	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	東尾処理分区末端管整備(未普及)	汚水管 φ=150mm L=2,092m	安城市							94.9									
1-C-6	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	古井処理分区末端管整備(未普及)	汚水管 φ=150mm L=228m	安城市							13.0									
1-C-7	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	小川南処理分区末端管整備(未普及)	汚水管 φ=150mm L=400m	安城市							25.9									
1-C-8	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	東端第7処理分区末端管整備(未普及)	汚水管 φ=150mm L=205m	安城市							12.4									
1-C-9	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	東端第9処理分区末端管整備(未普及)	汚水管 φ=150mm L=159m	安城市							9.2									
														合計										155.4	

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-C-1	二本木第二排水区(浸水対策)(1-A1-15)の地域住民によるワークショップによって地域ハザードマップを作成することにより、住民の防災意識の向上と災害時において適切な対応を促すことができ、浸水被害の軽減を図ることができる。													
1-C-2	浸水対策事業のソフト対策として下水道等の水位情報をインターネット上に公開することで、住民の防災意識の向上と災害時において適切な対応を促すことができ、浸水被害の軽減を図ることができる。													
1-C-3	里第8処理分区(未普及)(1-A1-2)で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。													
1-C-4	二本木第2処理分区(未普及)(1-A1-3)で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。													
1-C-5	東尾処理分区(未普及)(1-A1-4)で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。													
1-C-6	古井処理分区(未普及)(1-A1-5)で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。													
1-C-7	小川南処理分区(未普及)(1-A1-7)で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。													
1-C-8	東端第7処理分区(未普及)(1-A1-11)で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。													
1-C-9	東端第9処理分区(未普及)(1-A1-12)で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。													

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水道計画区域の下水道整備を進めることによって、生活環境の改善と公共用水域の水質保全が図られた。
- ・調整池築造工事を施工中です。また、雨水貯留施設助成により浸水被害の減少が図られた。
- ・下水道の主要な幹線等に設置されているマンホールの浮上防止を行なうことで、被災時にも汚水を流域下水道管渠まで流下させる機能が確保できたことにより、市民生活への都市衛生機能の維持及び水環境の保全が図られた。
- ・災害時の避難場所、避難所になる小中学校等にマンホールトイレを設置したことによって、災害時の下水道施設の充実が図られた。

II 定量的指標の達成状況

指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	76.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・下水道処理人口普及率の目標値を達成することができた。
	最終実績値	76.6%		
指標②（市民の河川整備に対する満足度）	最終目標値	48.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・市民アンケートのうち、河川の整備に関して「満足である」とした割合が、目標値を達成することができた。
	最終実績値	51.1%		
指標③（マンホールの浮上防止対策率）	最終目標値	29.6%	目標値と実績値に差が出た要因	・安城市下水道総合地震対策計画（緊急対策）のうちマンホールの浮上防止対策について、目標値を達成することができた。 ・マンホールの浮上防止対策施工箇所数（8）/浮上防止対策計画箇所数（27）=29.6%
	最終実績値	29.6%		
指標④（マンホールトイレの設置率）	最終目標値	37.5%	目標値と実績値に差が出た要因	・安城市下水道総合地震対策計画（緊急対策）のうちマンホールトイレの設置について、目標値を達成することができた。 ・マンホールトイレの設置箇所数（45）/設置計画箇所数（120）=37.5%
	最終実績値	37.5%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

- ・**河川における水質の向上**  
下水道が整備され、河川などの公共用水域に汚水を流さなくなったことにより、河川の水質の改善が見られる。  
【各河川における水質（BOD75%値）の推移】  

	平成22年		平成26年	関連事業
境川水域	4.1mg/ℓ	→	2.4mg/ℓ	1-A1-1～1-A1-3・1-C-3
矢作川水域	4.0mg/ℓ	→	3.4mg/ℓ	1-A1-4～1-A1-9・1-C-5～1-C-7

  
 【下水道への接続状況】  

	平成22年		平成26年	関連事業
水洗化率	84.3%	→	88.4%	1-A1-1～1-A1-12・1-C-3・1-C-5～1-C-9
接続人口	105,679人	→	125,494人	1-A1-1～1-A1-12・1-C-3・1-C-5～1-C-9
- ・**浸水対策**  
民間事業により、下水道接続時に不要となる浄化槽の雨水貯留施設への転用助成を行なっている。  

事業名	最終実績値	関連事業
雨水貯留施設の助成	N=77件	1-A1-13

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・汚水の未普及対策として、安全、安心、公衆衛生の向上を目的とした下水道整備を推進し、市民の生活環境の向上を図ります。
- ・浸水対策として、雨水貯留施設整備による5年確率降雨の進捗率の向上を図ります。
- ・安城市下水道総合地震対策計画（緊急対策）に基づき、下水道施設の耐震化及びマンホールトイレ設置について計画的に進めていきます。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

